

－ 高知の高校生に最高の知を －
7/19開催 第2回の講師はサステナビリティ科学の春日 文子氏
「なんのために生まれて なにをしながら生きるのか？」

高知の高校生に、対面で優れた研究者の講演を聞いてもらうとともに、直接意見交換できる機会を提供すべく、『高高高知講演会』を開催しています。本講演では、世界の一线で活躍する研究者との交流を通じて、将来高校生自らが高い知性を持ち、高知、日本、さらには世界に貢献するきっかけとなることを目指しています。

2回目となる今回は、食品安全学、サステナビリティ科学が専門の長崎大学教授 春日 文子 氏を講師に迎え、「なんのために生まれて なにをしながら生きるのか ～ひとりの科学者の想い～」をテーマにお話しいただきます。

第2回 高高高知講演会

■日時：2025年7月19日（土） 14:00～16:30

■会場：高知工科大学 永国寺キャンパス 教育研究棟A104

■参加費：無料

■定員：150名（高校生に限らず学生、および一般の参加も歓迎します）

■講演：「なんのために生まれて なにをしながら生きるのか
～ひとりの科学者の想い～」 14:00～15:30

■講師：春日 文子（かすが ふみこ）氏

長崎大学大学院 熱帯医学・グローバルヘルス研究科／プラネタリーヘルス学環教授

長崎大学グローバルリスク研究センター副センター長

専門は食品安全学、サステナビリティ科学

1988年東京大学大学院博士課程修了。農学博士、獣医師。厚生労働省の研究者として食品安全の研究に従事した後、国立環境研究所を経て、2023年より長崎大学教授。サステナビリティ科学の国際的研究ネットワークであるFuture Earthの国際事務局日本ハブ事務局長も務める。第22期日本学術会議国際担当副会長。

2015年より高知県公立大学法人理事。

■交流会：講演後、春日氏と高校生等との交流会を予定 15:30～16:30

申込時に「交流会参加」と要回答

ファシリテーター…八田 章光〔高知工科大学副学長（教育担当）〕

■申込方法：専用サイトの申込フォーム

（大学ホームページのEVENTSまたは右記QRコードから）

定員超過の場合、2つの教室を中継する可能性があり、講演者と同じ教室での聴講は高校生を優先します。あらかじめご了解の上お申し込みください。

主催：高知工科大学

共催：高知県立大学・高知県教育委員会・高知県私立中学高等学校連合会

後援：高知みらい科学館



(講演要旨)

「なんのために生まれてなにをしながら生きるがか〜ひとりの科学者の想い〜」

長崎大学教授 春日 文子

小学生時代からずっと「科学者」になりたかった田舎町の女の子が、望みどおり獣医生理学で博士号を取った後、就職したのは厚生労働省の研究所。以来、食品安全のために様々な研究を行い、また子育てもする中で、いろいろな立場の人たちと出会いました。科学者の社会の中での責任を自覚し、科学と社会との協働や共創の知が社会や環境の問題解決のために重要であることを実感しました。国連機関の専門家会議や日本学術会議での役目など、予想もしなかった出来事も降りかかりました。地球環境問題にも関わることになり、長崎大学では平和とプラネタリーヘルス（※）にも取り組んでいます。日々、国際学術団体の仕事もしています。

「なんのために生まれたか」はずっとわからないままかもしれません。

でも毎日、「なにをしながら生きるがか」に向き合っています。

講演会では自分自身の振り返りとともに、若い皆さんと

意見交換ができたと思います。



※

春日先生が研究する長崎大学ではプラネタリーヘルスを『「地球の健康」を支え続けるために有効な「答え（解決策）」を探求し、私たち自身の意識変容、行動変容を促す取り組み』と定義しています。SDGsのその先へ。

詳細は長崎大学ホームページ： <https://www.plh.nagasaki-u.ac.jp/challenge/>